

 **ごあいさつ**

2月の声を聞くと、寒い中にもフキノトウの芽吹きをあっちこっちで目にします。穏やかに明けた2019年雨が降らず、インフルエンザが流行し、家族中で罹る等、予後も心配になるほどですが、利用者の皆さまにおかれましては、お変わりなくお過ごしでしょうか。ルームの中で、2歳児は、4月から3年保育の幼稚園入園が控えています。また、4月に特別休暇を終え、仕事復帰で保育園の1歳児に入所する現在0歳児の子どもたち、遊びの中で人との関わる為に覚えたルール（貸して・いいよ・待つ・ありがとう・入れて・どうぞ等）食事では、美味しく楽しんで食べるランチ、そしてマナーも積み重ねてきました。後は早寝早起きの「生活リズム」です。今は布団の中のぬくもりが恋しい時期でもありますが、意を決し早めに切り替え、心が弾む春を待ちたいものです。

この時期に出る話題「習い事」…子どもは習い事を通じて自分の個性を知る

子どもを何らかの習いごとに通わせる場合、何を習うか、どこに通うかは、どう決めればよいだろうか？親が子どもにさせたいと思うものを習いごとを選んでいる家庭が多い。中には子どもが苦手なことをする親もいる。習い事がどうしても好きになれない場合は、親がやらせたいと思っても苦手なものは苦手なまま、嫌いなものは嫌いなままである。その習い事を続けられれば続けるほど子どもには苦痛になっていく。一般的には得意なこと好きなことにしほればよい。その方が続けやすいし、より一層得意になるので子どもにとって自信になり、健康的な心の成長につながる。逆に苦手な事や嫌なことを選んで続けると、余計に苦手意識が強くなり、益々嫌いになる。時間をかけても習熟せず、結局自信は低下し、健康的な心の成長にとってマイナスになる。一方音楽やスポーツなどの中には、幼児から始める方が伸びやすいと言われている分野もある。プロを目指すのであれば、始めた方が良さそうに思う。子どもがまだ小さいうちから習い事をやらせたい場合は、「お試し」をしてみるとよい。やってみないと分からないのも事実。本人が興味を持って習い続けたいと思えば喜んで続く。でもお試しはあくまでお試し、本人が気乗りしなければ、親は潔く決断しなければならない。しばらく続けているうちに嫌になってしまう場合、無理に続けさせずに中断する。最初のチャンスは親が与えないとわからないが、習い事として続けるかどうかは自分が決める。それは、子どもが自分の個性を知ることにもつながる。

節分…“節がわり”

何時の頃からか立春の前日の事だけと言うようになり、節分の豆を年とり豆といって、自分の年の数だけ食べるのは、豆まきが昔は年とり（新年の年がわり）の行事であったなごりであります。豆まきは、夜になり窓を開け、地方によって違いますが「福は内・鬼は外・なにつぶす、鬼の目玉打つつぶす」と言って、豆をまいていたことをこの季節になると思い出す。私たちの先祖は、こうして災難を追い払い幸せを願い、農作物の豊作を祈った等、節分の意味を子どもたちに話し、今私たちが苦しめている鬼はなんだろうと、話しあうのもいいのではなないでしょうか。昨今、豆による事故防止のために、新聞紙や広告を丸めて豆に見立てて、豆まきをする幼稚園や保育園である。ルームも一足早く「安全第一変わる節分」を先取りして豆まきを楽しみました。

 **2・3月生まれの誕生日紹介**

- ◆2月15日 みほさん (1さい)
- ◆2月22日 じょうくん (1さい)
- ◆3月10日 ゆみさん (3さい)
- ◆3月26日 たくまくん (1さい)



※誕生日の掲示は、未就園児で保育園・幼稚園に入園していないお友だちのみとします。また、入会后半年以上利用がない場合は掲示されません。プレゼントは、誕生日カード(写真・手形・成長記録) ご両親のメッセージもいただき誕生日月にみんなでお祝いしましょう！

 **お知らせ**

- ◆3/8(金)…「大きくなったね。お祝い会」を予定しています。
- ※人数の都合上、ご招待の方（4月に幼稚園・保育園に入園されるお子様とママ&兄弟・姉妹）のみの利用となりますのでご了承ください。当日はお祝い御膳ランチもご用意させていただきます。
- *詳細は追ってお知らせいたします。
- ◆3/12(火)…発達心理職の澤井晴乃先生がお見えになります。今年度最後です。お気軽にお話しを伺ってください。個別相談も受け付けています。